MEIJI UNIVERSITY LIBRARY

2013

らいぶ

『東海道四谷怪談』文久2(1862)年

瀬川如皐作　二代目歌川国貞画

CONTENTS

明治大学図書館へようこそ …… P1
世界に一つしかない物語の創り方 …… P2
2012年5月1日オープン ようこそ！ 和泉図書館へ …… P3
図書館の達人になろう！ スゴロク …… P5
先輩から贈る新入生への図書館活用アドバイス …… P8
第3回 明治大学図書館書評コンテスト優秀賞受賞作品 …… P9
「図書館活用法」履修のおすすめ …… P11
図書館でよく読まれた本 2012 …… P11

明治大学図書館へようこそ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学図書館は日々進化しています。明治大学図書館も多様な機能・サービスを備えて、皆さんをお待ちしています。

まずは図書館内を一通り歩き、書棚を眺めてみましょう。知的好奇心を刺激される本があったら手に取ってみてください。そして是非多くの良き本に出会ってください。これら一冊一冊が豊かな栄養源となり、人生の糧となってくれるはずです。

また、さまざまな情報が氾濫するなかで、真に必要な情報を入手、分析し、自分の考えを構築する能力は、皆さんが現代社会を生き抜く上で不可欠となっています。良質な情報を備えた図書館は、まさに皆さんの強力な味方です。図書館では、各種の情報検索やレポートの書き方などの講習会も開催しています。

情報と知の宝庫である図書館を目いっぱい活用し、密度の濃い大学生活をお送りください。

用途に合わせてカシコク使おう！

4館合わせた蔵書

233 総冊数 万冊

各館の蔵書にはそれぞれ特色があるので、利用目的に応じて使い分けて積極的に利用するのがお勧めです。
全館、日曜祝日も開館しています。

和泉図書館

特　色　人文・社会科学の入門・基本図書

蔵書数　32万冊

最寄駅　明大前(京王・井の頭線)

中央図書館

特　色　人文・社会科学の基本・専門図書

蔵書数　157万冊

最寄駅　御茶ノ水(JR)

中野図書館

特　色　国際日本学・総合数理科学の基本・専門図書

蔵書数　2万冊

最寄駅　中野(JR・メトロ東西線)

生田図書館

特　色　自然科学・理工学農学の基本・専門図書

蔵書数　42万冊

最寄駅　生田(小田急線)

世界に一つしかない物語の創り方

明治大学図書館副館長・農学部教授　賀来華江

地球が誕生してから46億年である。

この地球誕生からの期間を1年とした場合、私たちの平均寿命八十年は10秒にも満たない。

このような地球規模の時間軸で考えると、なんとも私たちに与えられた人生の時間は微々たるものである。

しかし、この微々たる時間には、多くの人生という物語がつくられ、同じものはひとつとしてない。たとえ同じ国籍、宗教や家族背景をもったとしても、また一卵性双生児であったとしても、まったく同じにはならない。すなわち同じ遺伝子型の人でも、後天的な自己要因や環境要因によって物語は大きく左右されるのである。主人公である私たちはこの物語をどのようにして自分らしく展開させ、どのように美しく素敵に終結させるのかを自分で創り得る可能性があることを意味している。

私は、いつも不思議に思うことがある。

数年前京都の知恩院を訪ねた。本堂には「法然上人八百年大遠忌法要」という大きな幕をみた。法然上人がご逝去されてから八百年もたつのに、どうしてこんなにも後世の私たちの心に残り、その生き方はどんなものであるだろうかと疑問に感じた。

またJR御茶ノ水駅の近くに湯島聖堂がある。五代将軍徳川綱吉が儒教の信仰を図るために、元禄三年に湯島の地に建てたそうである。この聖堂には孔子像がある。紀元前五世紀に誕生した孔子は、いまから二千五百年前の中国の思想家であるにもかかわらず、知らない人はほとんどいない。

孔子や法然上人あるいは多くの先人も、私たちと同様に限定された生命の時間を与えられているのに、先人たちはどのようにして後世の私たちにこんなにも大きな影響を与えることのできるような人生の物語を創り得たのだろうと驚嘆する。

もちろん、今の私たちは先人に直接に会う術もなければ、その時代背景を直接に肌で触れることができない。しかし先人の生き様や生きていた足跡、またその時代軸を私たちは図書館で多くの書物から紐解くことが可能である。図書館には、多くの専門書や雑誌以外に、人生の指南書、すなわち参考書が多く存在するのである。

最近、命に関わる「悲しいニュース」が多く報道されていることに、とても心を痛めている。この世に意味のない生命は一つもないのである。自分のもつ命の意味を再確認することにより、他人の命も慈しむことができるのである。そして誰も書けない自分の物語創りに挑戦してほしいと思う。この物語はどんなに時間をかけても、また何度も何度も書き直すことができるものである。

物語の書き方に窮したり、書く方向性に迷ったりした場合には、物語を書くことを諦めず、是非図書館にある多くの人生の指南書の中から、自分の見本となるもの、あるいは自分の物語にあう部分（パーツ）を集めるために時間をかけて丁寧に探してほしいのである。

そして世界に一つしかないあなただけの素敵な人生という物語を完成させ、また可能であれば後世の人々に少しでも貢献できるような物語を残したいと私自身も願っているところである。

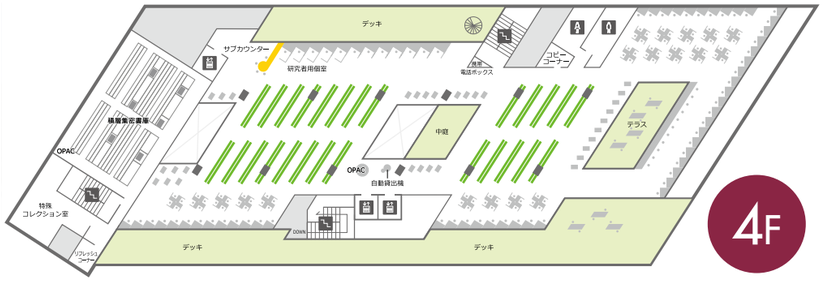
ようこそ！

2012年5月1日オープン 和泉図書館へ

新しい和泉図書館は「入ってみたくなる図書館」を目指し、シンボル性とメッセージ性、及び空間的ゆとりに代表される内観の居心地の良さが人々を魅了します。長時間滞在型の個性あるエリア、人と人・人と情報、そして大学と地域社会・国際社会との架け橋（リエゾン）を通じて、新図書館は世界に開かれた大学の実現に貢献します。

外から見ると…

地上四階建て、ガラス張りの建物です。晴れた日には、日が差し込む心地よい図書館です。



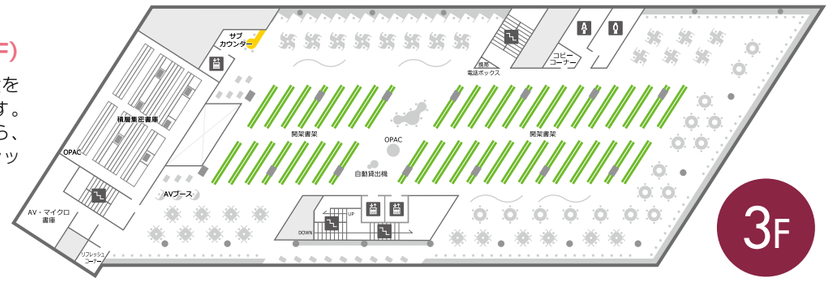
4F

ホール（1F）

124席あり、講演会や図書館に関する授業、「レポートの書き方」DVD上映会等を開催しています。

サロン（1F）

コーヒーや軽食を販売しています。勉強に疲れたら、サロンでリフレッシュ！

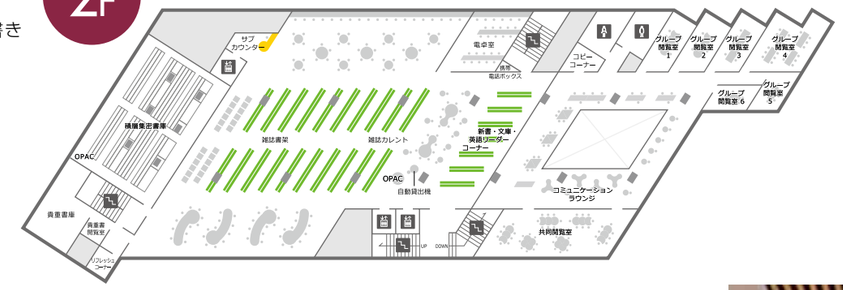


3F

カウンター（1F）

貸出・返却、レファレンスカウンター、サーチアシストです。分からないことは、気軽に質問して下さい。

2F



1F

参考図書エリア（1F）

レファレンスブックや地図が並んでいます。

閲覧エリア（1~4F）

上の階に行くほど落ち着いた雰囲気になっていきます。気分に合わせて、席を選べます。あなたはどこがお気に入り？

積層集密書架（2~4F）

2Fから4Fまで縦長につながった集密書架です。各階からソファで見上げると、その眺めはまさに圧巻。

コミュニケーションラウンジ（2F）

友達と話し合いながら勉強をしたり、ゼミ発表の練習をしたり…和泉図書館で一番活気のあるエリアです。

2013年4月 中野図書館オープン!!

「国際化、先端研究、社会連携の拠点キャンパス」として誕生する新しい中野キャンパスに中野図書館がオープンします！国際日本学部、総合数理学部に特化した蔵書を基に、閲覧ゾーン、情報検索ゾーン、新聞・雑誌ゾーンなど多彩な閲覧スペースを設け、集中して学習できる快適な環境、人や情報が活発に交流する空間を提供します。

※イメージ図は実際と異なる場合があります。

図書館の達人になろう！ スゴロク

START!

ひまだなあ。図書館でも行くか・・・

今日は館内作業日
図書館は休館でした。
1回休み…。
★HPやカレンダーで確認しましょう。

学生証を忘れて入館ゲートでとめられる。
ふりだしにもどる…。
★図書館には入館ゲートが設けられていますのでご注意を。

こんな時便利

図書館利用案内

- 貸出冊数・貸出期間
- OPAC検索結果の見方
- レファレンスサービス（資料についての相談サービス）
- ポータルサービス（資料の予約・貸出期間延長・他館からの取り寄せ、購入依頼）
- 図書館ホームページ案内
- 電子資料の紹介
- 各図書館の案内図（本の配架されている場所を探すのに便利）
- その他

こんな時便利

図書館カレンダー

各図書館（中央・和泉・生田・中野）の開館日、開館時間がわかりやすく色別に表示してあります。12ヶ月分をコンパクトに折りたたんだ、ポケットカレンダーです。

OPACで本をさがしてみましょう。
使ってみると意外に簡単。

もしもOPACの使い方や、検索結果の見方がわからないときは、近くの図書館員に聞いてみて。

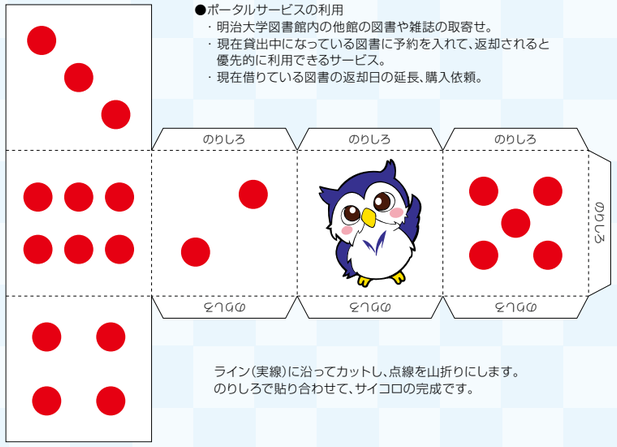
そもそもOPACって何？
Online Public Access Catalogの略称です。

図書館の本を探すためのシステムです。
図書館内の端末や、インターネットから利用できます。

こんな時便利

OPAC

OPACでは下記の検索等ができます。
- 明治大学に所蔵している図書や雑誌の検索。
- 山手線コンソーシアム加盟大学（青山学院大学・学習院大学・國學院大學・東洋大学・法政大学・明治学院大学・立教大学）の図書や雑誌の検索。
- CiNiiBooks（全国の大学図書館等の総合目録データベース）の所蔵資料の検索。
- ポータルサービスの利用
  - 明治大学図書館内の他館の図書や雑誌の取寄せ。
  - 現在貸出中になっている図書に予約を入れて、返却されると優先的に利用できるサービス。
  - 現在借りている図書の返却日の延長、購入依頼。



ライン（実線）に沿ってカットし、点線を山折りにします。
のりしろで貼り合わせて、サイコロの完成です。

OPACを使わずに本を探していたら図書館で迷子になる。
1回休み…。

図書館で迷子にならない為に

図書館ではさまざまなツアーやガイダンス・講習会などを実施しています。

館内ツアー：各館とも主に4・5月の開催になります。
図書館の施設と利用について案内します。どなたでも自由に参加できます。

ゼミツアー：ゼミ単位の事前申込み制で、目的に応じた案内をします。
テーマに関連した資料の配架案内、検索やデータベースの説明をします。

MIND利用講習会：MIND（明治大学総合情報ネットワーク）で開催する講習会。
ネットワークの仕組みやマナーについて学びます。
メディア施設や図書館、就職・キャリア支援センターのパソコンなど、学内のパソコンから学外のWEBページを閲覧するためには受講が必須条件。

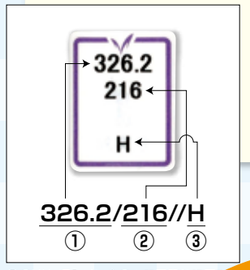
他にも、レポートの書き方講座や、就職活動に活かせるデータベース講習会など**是非活用して下さい☆**

配置場所

開架：OPACで資料の配置場所が"○○開架"と表記されている図書は、利用者が直接資料を選ぶことのできるアクセスしやすい書架に並んでいます。
書庫：図書館資料を収蔵している場所のこと。資料の保存や収納効率を重視した書架で構成されており、地下など奥まったところにある場合が多いです。利用者が入れない書庫も一部ありますが（生田保存書庫や貴重書庫）、ほぼ自由に入庫できます。
参考図書：辞書、事典、図鑑、年表など、特定の情報を調べるときに使用する図書。レファレンスブックともいいます。図書館では、請求記号の最初に"R"を付けて専用書架に配置されています。貸出不可で、館内に常備されています。
新書・文庫：オリジナルな解説的教養書や、携帯に便利で、気軽に利用できる一般向きで多様な内容が特徴です。
シラバス本：各学部のシラバスに掲載された「参考書」を図書館で購入し、学部ごとにまとめて配架してある図書。学部名と教員名の頭文字1字を組み合わせた請求記号を付けています。貸出不可で、館内に常備されています。
大型本：通常の書架高さでは収納できない図書。美術書や建築関係に多く、図書館では099で始まる請求記号を付けて、専用書架に配置してあります。

請求記号

資料が配置されている位置を示す記号。326.2/216//Hのように、①分類記号②図書番号③所蔵館で構成されています。この記号をラベルに印刷したものが図書の背に貼付されていて、これを元に資料を書架で探します。



③のHは、旧「本館」今の中央図書館を示す。

検索結果がでてきたら、請求記号と配置場所をメモして、本棚に行きましょう。
図書館の本は内容で分類され、番号順に並んでいます。
書庫の中へも入ってください。
たくさんの本がみなさんを待っていますよ。

7ページに続く

OPACでは、本のほかに雑誌や新聞、マイクロフィルム、なんでも探せます。

明治大学図書館の本だけではなく、**山手線コンソーシアム**の各大学図書館の本も探せます。

山手線沿線にある8つの私立大学図書館の、相互協力コンソーシアム。加盟大学は青山学院、学習院、國學院、東洋、法政、明治学院、立教、明治です。明治大学の学生証で加盟館を訪問することができ、図書の貸出も受けられます。

配送
読みたい本が他のキャンパスの図書館にあったら、
OPAC画面の「予約」ボタンから資料の取り寄せを
申し込むことができます。
原則として、
次の日には本が届きます。
2マス進む！

めいじろうからの豆知識

CiNiiBooks
全国の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースで、国立情報学研究所（NII）によって提供されています。特定の資料をどこの大学がもっているかを調べることができます。

電子ジャーナル
従来は印刷物として出版されていた雑誌を、電子メディアを用いて出版したもの。オンラインジャーナルともいいます。Webでの利用が主流で、紙の雑誌よりはやく入手できるなどのメリットもあります。紙媒体の雑誌と並行して出版されるものが多いですが、電子版のみで刊行されるものも増えてきています。

ポータルサービスにログインすれば
自分の貸出状況やサービス申込状態を
確認することができるよ。

購入申し込み
読みたい本が図書館になかったら、
買ってもらいましょう。
やっぱりOPACで申し込める！
1マス進む！

★本の購入はご希望に沿えない
こともあります

予約
読みたい本が貸し出されていたら、
予約をつけよう。
OPACから申し込むことができます。
本が返却されたら、
お知らせメールも届くよ。
3マス進む！

めいじろうからの豆知識

閲覧
図書を調べながら読むこと。図書館では、主に資料を館内で利用することをいいます。

延滞
返却期限内に借りた資料を返却しないこと。返却するまでは貸出を受けることができないのでご注意下さい。

延長
借りた資料の返却期限を延ばすこと。貸出期限内に1回に限り手続ができます。ただし、予約者がいた場合は延長できません。

〈雑誌〉について
図書館では、資料を図書と雑誌とに区別して利用に供しています。
ですから、資料を探す時は〈図書〉なのか？〈雑誌〉なのか？を常に意識して探してみて下さい！
雑誌の請求記号はP(Periodicalの略)ではじまります。
雑誌とは、同じタイトルで、終刊を予定せずに定期的に刊行される出版物です。
多数の執筆者による記事･論文の集合体で、図書と比較して情報が早いのが特徴です。
OPACでも図書か雑誌かを限定して検索できます☆

レファレンスでILLを申し込む
各館のレファレンスカウンターでは、
図書館のスタッフが図書館の資料や機能を活用して、
検索の助言や資料の提供などの手助けをしています。
調べ方が分からない、探している文献が見つからないなど、
学習や研究、調査などで困ったときに、ぜひご利用下さい。
ILLとは、明大図書館で所蔵していない資料を他の図書館から借りたり、
論文のコピーを取り寄せたりすることです。
(送料･コピー代は利用者負担)

うっかり、貸出手続きをするのを忘れて本を持ち出し。
退館ゲートでブザーが鳴り響く！
あぁ恥ずかしい。
ふりだしにもどる……。

★本を図書館外に持ち出すときは必ずカウンター
または自動貸出機で貸出手続きをして下さい。

自動貸出機
セルフサービスで図書の貸出ができる機械。各館に備え付けられています。

GOAL!

これで
図書館の
達人だぁ
やったね♪

先輩から贈る新入生への 図書館活用アドバイス

新和泉図書館の素晴らしさに触れてみよう

政治経済学部経済学科4年　村岡 銀地

「明治大学に入学したらまずは図書館に足を運んでみてほしい」私は新入生に出会ったらこう言いたいと思います。そこは皆さんが今まで利用してきた図書館とは全く違います。一番の違いは蔵書の数です。私はこれまで何度もレポートや論文を書く際に図書館を利用しました。大学の勉強になると専門性の高い文献が必要になり、市の図書館等で探しても必要な文献がないことが多々ありました。しかしどんなに専門性の高い本であっても、大学の図書館を探せばたいていの物は見つけることが出来ました。

また大学の図書館は自習スペースも充実しているので勉強に集中したいときには図書館での勉強がオススメです。周りの人も真剣に勉強しているので良い緊張感の中で勉強することができます。試験前は大変混雑して席が少なくなるのがたまに傷ですが。

なんといっても皆さんには新しくなった和泉キャンパスの図書館の素晴らしさに一刻も早く気付いてほしいです。新しい和泉図書館は日本の図書館の中でもトップクラスの図書館だと思います。私は旧和泉図書館でさえ大学の図書館はすごいなと感心していましたが、新和泉図書館は以前の図書館などとは比べ物にならないくらいきれいで、設備が充実しています。皆さんはこの和泉図書館を入学時から利用できる初めての学年で、とてもラッキーだと思います。この素晴らしい図書館を入学時から可能な限り利用し尽くし、大学生活をより豊かなものにしてください。

図書館利用のすすめ

理工学部建築学科4年　山下 香澄

学生が図書館へ行く目的や時間は様々だが、一般的に授業の合間に訪れ、読書や調べもの、自習をしていると考えられる。あるいは一人になりたくて図書館へ行く人もいるのかもしれない。図書館を利用する人は、それぞれの静かな空間の中で自分の世界にひたることを望んで訪れるのではないだろうか。

建築学科の学生も他学科の学生と同様に図書館を利用するが、私たちの場合何か設計のアイディアが欲しい時や行き詰まった時に事例などを調べながら、どんな空間をつくりたいのか、どんなテーマにしたいのかを考える。

そんな時、読んでいた本の中で気になる言葉や考え方、問題を見つけることがある。今度はそれらについての本を探し出し、読む。そしてまた気になることが増えて、本を読む。これを繰り返しているうちに、今まで触れることのなかった分野にたどり着き、思いもよらない方向へ自分の興味が広がる時がある。すると、面白いアイディアが浮かんだりする。今まで読もうと思ったことすらない本や、他分野とまではいかなくとも似ているけれど少し違う隣に並んでいた本との出会いが、新たなひらめきの瞬間をもたらしてくれるのかもしれない。

図書館では、一見、一人ひとりが自分の世界に閉じこもっているように見える。しかし実は自分の興味を外へ外へと開いていく場所なのかもしれない。小さな空間の大きな世界を体験してほしいと思う。

第3回 明治大学図書館書評コンテスト 優秀賞受賞作品

＊明治大学図書館書評コンテスト
学生が読書に一層興味を持ち、積極的に図書館を活用することを目的として、2010年度より開催されています。
過去の受賞作品等については、図書館ＨＰ内⇒図書館について⇒書評コンテストよりご覧いただくことができます。

佐治晴夫著『夢みる科学』（玉川大学出版部 2006）404.9/14//H

情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科4年　高木 玲

著者風にいうならば、ピアニッシモからメツォフォルテに深まってきた秋の夜。窓を開けて夜空を見上げた。昔から理系の分野を毛嫌いしていた私が、本書で科学や宇宙のロマンに心を抱きしめられ、読後、導かれるように星々を見つめていたのだ。

本書は物理学、宇宙論の専門家である「すぷーん先生」こと、佐治晴夫氏による短編エッセイ集である。エッセイは天体や感性の話など一つのテーマにつき2ページ程度で、毎話、筆者の様々な体験談から話は始まる。また、本書の特徴は「初冬の静かな公園の片隅で、枯葉に埋もれた日時計が、見えない時を刻んでいます。」(p.86)といったような四季の彩りを表現した詩的な書き出しなどのロマンチックな文章にある。そして科学の本でありながら数字も記号も一切出てこない。したがって、基礎知識も一切必要ない。その点が本書の親しみやすさの最大の要因だろう。

読者は唯々、著者の豊かな感性と生活の中から身近に説かれる科学の魅力に身を任せるだけで、知識とやすらぎにうっとりと浸ることができる。

「人はなぜ人の形をしているのでしょうか。」「人の形　宇宙がデザイン」(p.81-83)ですぷーん先生が読者に問いかける。平易にまとめると、まず、骨格の大きさや形は、地球の大きさと深く関わっている。骨格に作用する地球からの引力が大きすぎると骨格が壊れてしまうのだ。また、空気が凍って個体になったり、液体になったのでは呼吸ができない。したがって、空気の分子を引き止める引力と、地上の環境温度が人の形をデザインしたのである。

まさに人の形というのは地球の重さと大きさ、また、太陽との絶妙な距離の賜物なのだ。

少しでも地球のサイズと太陽の位置が違ったら、エイリアンのような形だったかもしれない。つまり、私たちは宇宙がデザインした宇宙の一部である。

このエッセイの最後にすぷーん先生は「言い換えれば、あなたの存在が宇宙を存在させているともいっていいかもしれませんね」と語ってくれている。こういった温もりの込められた言葉は、誰もが今日を生きる一助となるのではないだろうか。このエッセイからも垣間見えるように一つのテーマから頭と心に優しく語りかけてくれる。それが本書の魅力なのである。

読後、導かれるように星々をみつめた。宇宙の事を想いながら夜空を見上げたのは初めてかもしれない。テレビからシリアの内紛のニュースが聞こえてくる。本書を読んだばかりの私はやるせなさに包まれた。たった今、宇宙論から人間という奇蹟や命の尊さを教わったからである。だからこそ教育、科学を通して多くの豊かな感性を伝えられる人が世界にはもっと必要なのだ。そう、例えば、すぷーん先生のような。

福岡伸一著『生物と無生物のあいだ』（講談社現代新書・2007）460.4/129//S

文学部文学科4年　羽生 真志

「私たちは、自然の流れの前に跪く以外に、そして生命のありようをただ記述すること以外に、なすすべはないのである。」(P285)

生物には時間がある。そしてその内部には常に不可逆的な時間の流れがあり、その流れに沿って折りたたまれ、一度折りたたんだら二度と解くことはできない。それが生物という存在の一種の定義である。不可逆的なシステムの中で、常に全体のバランスを保った平衡状態を作り出すこと、それが生物の生命活動であり、ユダヤ人の科学者、ルドルフ・シェーンハイマーが「動的平衡」と呼んだそのメカニズムは、生物と無生物を区別しうる指標であるとともに、「命とは何か」という問いに接近しうる一つの大きな論点でもある。

本書「生物と無生物のあいだ」は、分子生物学者である福岡伸一が上記「動的平衡」論をもとに生命の本質に接近しようと自らの研究人生を綴ったものである。詳細は伏せておくが、分子生物学の発展を、ワトソンやクリック、シュレーディンガーなどの有名な研究者の人格や研究態度にも触れつつ初心者でも入りやすい流麗かつ愉快な語り口で説明し、自らの研究での発見で締めくくっているのが大まかな流れである。特に「二重らせん」理論の前史とその後の展開の話は、この分野の初学者を一気に引き込む力を持っている。ある章ではルポライターの記事、ある章では旅行記、ある章では自伝的なエッセイのようにみえる本書の語り口からは筆者の類い稀なる文章力を垣間見ることができ、その巧みな描写力から投影される日本やニューヨークの風景は、普段私たちが見ているのとは全く違う、分子生物学者独自の視点を読者に疑似体験させる。砂浜に転がる貝殻が放つ硬質な光からDNAがもたらす美の形式、秩序がもたらす美しさを見出すその視点は、少なくともこの分野の門外漢である私にとっては非常に新鮮であり、その体験はこの本の魅力の一つである。

冒頭で引用した文章のように、本書後半では生命の内部の不可逆的な時間の流れと、その中で生へ向かって動き続ける細胞の働きについて詳細に記述されている。その様は、鴨長明が方丈記に記した、「ゆく河のながれは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつむすびて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人と栖（すみか）と、またかくのごとし。」という文章を私に思い出させた。一見、固定的な構造に見える骨や歯ですらもその内部では絶え間のない分解と構成が繰り返されているという事実は、生命の動的な流れを意識し、この世の「生物」へ対する見方を変えるのに十分なものであった。

本書はこの分野の専門家にはやや易しいかもしれないが、それ以外の方にはぜひ一読してもらいたい。そうすれば、本書に込められた「生命の躍動」が必ず読者の内に響くことだろう。生命の美しさを知ることは、生命であふれた世界の美しさを知ることにもつながるのである。

水島直文・橋本政宣編注『橘曙覧全歌集』（岩波書店 1999年）BIB/Y274-1//W

文学部史学地理学科2年　三浦 直人

中学2年の頃、電車通学の行き帰りに国語便覧を読むのが、ささやかなマイブームだった。中でも一番のお気に入りは、橘曙覧の「たのしみはまれに魚烹（に）て児等（こら）皆がうましうましといひて食ふ時」という一首だった。「うましうまし」が可愛くて、この歌が頭から離れなかった。この一首が、「独楽吟」と呼ばれる52首の内の一つであることは、高校2年の時に知った。

橘曙覧は、清貧思想の体現者としてその名を知られる、幕末期の歌人である。雨露をしのぐのに精一杯の家屋で、味わい豊かな1300首を生み出した。無論、中野孝次『清貧の思想』にも、その名が挙がっている。「たのしみは」で始まり「時」で終わる52首は、齋藤孝ふうに表現するならば、橘曙覧の“偏愛マップ”だ。小さな宇宙に無限の楽しみを見出す――橘曙覧の生活観がよく反映されている。

「たのしみは百日（ももか）ひねれど成らぬ歌のふとおもしろく出できぬる時」
「たのしみは朝おきいでて昨日まで無かりし花の咲ける見る時」
「たのしみはそぞろ読みゆく書（ふみ）の中（うち）に我とひとしき人をみし時」

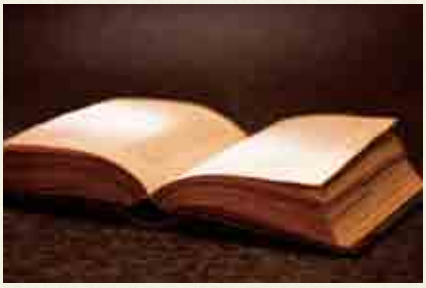
清貧の世界を楽しむには、卓越したセンスとエネルギーが必要だ。橘曙覧は、全力で笑い、歎き、怒ることで、日々の生活の全てを、清貧を楽しむテクニックへと昇華した。俗世間への諦観とは異なる、エネルギッシュな隠棲生活である。膨大な書を写し終えた充足感に浸り、焼き豆腐に舌鼓を打つ。一方で、とりあえず1カ月分の米を確保して安心したり、嫌なヤツがさっさと帰ったりするのも「たのしみ」に含まれる。悲壮感の無い、圧倒的な強さを持つ人生観だ。

我々はより善く生きようと考える時、宗教や哲学などの、大きな“善く生きる”ばかりを論じがちである。他方で橘曙覧は、小さな“善く生きる”を徹底して追求したと言える。我々も、胸中に各自の「独楽吟」を温め、小さな“善く生きる”を実践していくべきなのかも知れない。そう言えば、橘曙覧が住んだ福井藩の藩主・松平春嶽も、「たのしめる歌」50首を作り、曙覧に見せたことがあるという。

「独楽吟」以外の作品全てに触れてみよう、と考えたのは今年の初め、大学2年になってからのことだ。蛇が頻繁に出没する家屋に、妻が文句を言う。すると曙覧は、「おそろしき世の人言（ひとごと）にくらぶれば逶迤（はひ）いづる虫の口はものかは」とユーモア溢れるコメント。この歌集を紐解くことで、震災後を生きる我々のヒントになるような、曙覧の実生活を垣間見ることが出来る。

ところで、つい先日、現行の小学校国語教科書に、「独楽吟」が掲載されているのを発見した。「この教科書、なかなか良い仕事をしているじゃないか」と、嬉しくなった。僕が胸中の詞華集に書き留めた「うましうまし」の歌のように、小学生の心にも橘曙覧の一首が刻まれる。彼らもまた、これからの長い人生で、自らの「独楽吟」を一つ一つ発見していくのだろう。そんな近未来に思いを馳せると、何だか自然と「たのしみ」になってくる。

「図書館活用法」履修のおすすめ



学部の枠を超え様々な講座が開設されている「学部間共通総合講座」の中に「図書館活用法」が開講されています。この科目は、明治大学図書館の基本的な使い方から、文献・情報の探し方とその検索結果を読み取るスキルを習得して、皆さんに図書館の蔵書を使いこなせるようになってもらうことを目的としています。

明治大学図書館は230万冊を超える図書、3万7千種類の雑誌、国内外の様々な外部データベース、電子ジャーナル、CD-ROMなどの膨大な学術資料を収蔵しています。授業やゼミでレポートや論文を書くときには、これらの学術資料が大いに役立ちます。そして、膨大な資料の中からより迅速に、より効率的に必要とする資料を入手し、適切に利用するためには、「図書館活用法」で得た知識やスキルが心強い味方になります。授業では技術的なスキルアップだけでなく、レポートや論文の作成法や、インターネット情報の特性や問題点、読書の愉しみ、図書館と著作権といった幅広いテーマについて講義します。

有意義な学生生活を送るためには、図書館を上手に利用して身近な場所にすることが大切です。「図書館活用法」の履修がそのきっかけになるでしょう。

授業スケジュールや詳しい内容については、「学部間共通総合講座」のシラバスや図書館のホームページをご覧ください。

「受講者からの感想」（2012年度前期受講者アンケートより）

- 自分が読みたい本を調べやすくなった。
- ほかにはない授業で面白かったです。レポートの書き方は大変ためになりました。
- この授業を受けてよかったと思う。大学生活において、非常に役に立つと思う。
- 図書館のことがこの授業を履修してない人より詳しくなれてよかったです。
- 授業にでないと知ることができない資料検索のしかたが学べてよかったです。

図書館でよく読まれた本 2012

［2012.1～2012.12 集計］

中央図書館

順位	タイトル / 著者・出版事項
1	●坂の上の雲 / 司馬遼太郎著 ; 1 : 新装版 - 8 : 新装版. — 文藝春秋, 1999. —(文春文庫 ;[し-1-76～83]).
2	●万能鑑定士Qの事件簿 / 松岡圭祐著 ; 1 - 12. — 角川書店, 2010. —(角川文庫 ; ま26-310～321).
3	●租税法 / 水野忠恒著. — 第5版. — 有斐閣, 2011.
4	●債権総論・担保物権 / 内田貴著. — 第3版. — 東京大学出版会, 2005. —(民法 / 内田貴著 ; 3).

和泉図書館

順位	タイトル / 著者・出版事項
1	●1Q84(ichi-kew-hachi-yon): a novel / 村上春樹著 ; book 1, book 2, book 3. — 新潮社, 2009.
2	●謎解きはディナーのあとで / 東川篤哉著 ;[1], 2. — 小学館, 2010.
3	●これからの「正義」の話をしよう : いまを生き延びるための哲学 / マイケル・サンデル著 ; 鬼澤忍訳. — 早川書房, 2010.
4	●植物図鑑 / 有川浩著. — 角川書店, 2009.

生田図書館

順位	タイトル / 著者・出版事項
1	●有機化学 / John McMurry著 ; 伊東椒[ほか]訳 ; 上, 中, 下. — 第7版. — 東京化学同人, 2009.
2	●分析化学 / Gary D. Christian著 ; 赤木右[ほか]共訳 ; 1 基礎編, 2 機器分析編. — 丸善, 2005.
3	●MS,IR,NMRの併用 / Silverstein, Webster, Kiemle著 ; 荒木峻[ほか]訳. — 第7版. — 東京化学同人, 2006. —(有機化合物のスペクトルによる同定法).
4	●土壌サイエンス入門 / 三枝正彦, 木村眞人編. — 文永堂出版, 2005.

らいぶ
No.19(2013年3月発行)　編集発行　明治大学図書館
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL:03-3296-4242 FAX:03-3296-2366
URL:http://www.lib.meiji.ac.jp/